

市 政 報 告

令和 2 年 8 月 6 日

第 2 回市議会臨時会

令和 2 年第 2 回市議会臨時会に当たり、市政の主なものについてご報告申し上げます。

はじめに、「新型コロナウイルス感染症に対する本市の対応」について申し上げます。

現在、全国的に感染が拡大しつつある中、感染予防対策にご理解とご協力のもと真摯に取り組んでこられた市民や事業者の皆様に、心から感謝を申し上げます。

さて、国においては、5 月 25 日に「特別措置法に基づく緊急事態宣言」を解除した後、「新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処方針」により、「新しい生活様式」を徹底するとともに、感染症対策と社会経済活動との両立を目指す考えが示されました。

また、北海道では、7 月 27 日に、全国的に感染が拡大しつつある中、「イベント等の収容率や人数を制限するステップ 3」を当面 8 月末まで維持するとともに、7 月 31 日に、観光需要が最も高まる 8 月から 9 月までの 2 か月間を新たに「新北海道スタイル集中対策期間」と位置づけ、接待を伴う飲食店・事業者、宿泊事業者・交通事業者への働きかけ、感染が拡大している地域への往来の慎重な判断などに取り組んでいくこととしています。

市としましては、こうした国や北海道の動向等を踏まえ、8 月 4 日の「対策本部会議」において、第 3 波にしっかりと備えた感染症対策、生活支援対策、経済対策などの取組を着実に進めるとともに、「新北海道スタイル」の実現に引き続き取り組んでいくこととしました。

今後の新型コロナウイルス感染症対策としましては、「新たな日常」の実現のため、行政や地域のデジタル化、産業・社会の活性化などを中心に、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を積極的に活用し、感染症拡大を予防する「新しい生活様式」の定着と地域経済の活性化に取り組んでまいります。

本臨時会におきましては、落ち込んだ地域経済の活性化を図るためのプレミアム商品券「がんばろう美唄応援券」の発行のほか、消防・救急隊員の感染リスクを低減するための多目的消防服の整備や分散仮眠のための庁舎改修、市立美唄病院における感染症の疑いのある発熱患者等の受入体制を強化する施設改修などの補正予算を提案するものであります。

さらには、第3回定例会におきましては、ICTを活用したスマート農業技術の導入やGIGAスクール構想の推進のため、市内全域に光ファイバを整備するほか、公共施設等における衛生設備の改修などの補正予算を予定しているところであり、新型コロナウイルス感染症の影響が長期化することを見据えた、切れ目のない対策をしっかりと講じてまいります。

私たちの暮らしは、北海道の第3波に備えた感染拡大防止と社会経済活動の活性化を両立させるという新たな段階に移行しましたが、全国的には、大都市を中心に再び感染が広がっており、他都府県との往来が多い北海道としては、より一層警戒感をもって注視していかなければならない状況となっています。

このため、市民や事業者の皆様には、自らを守る意識をもって、「3つの密」の回避や「人と人との距離の確保」「マスクの着用」「手洗いの手指衛生」をはじめとした基本的な感染対策の徹底をしていただくとともに、生活のあらゆる場面で感染リスクを低減させる新しい生活様式「新北海道スタイル」の実践に、引き続き努めていただくことをお願いします。

市としては、商工会議所などの市内関係機関・団体との連携・協力体制をより一層図りながら、市民の皆様が一日でも早く日常の生活や通常の事業活動を取り戻すことができるよう、引き続き、職員一丸となって「市民の皆さんの命と暮らしを守る」ための対策をしっかりと講じてまいります。

次に、「空知団地譲渡に係る契約締結」について申し上げます。

去る7月27日、東京都に所在する「株式会社共同通信デジタル」と空知団地譲渡に係る契約を締結しました。

本市においては、平成9年設立の「美唄自然エネルギー研究会」とともに、これまで雪の冷熱をコンピュータサーバの冷却に活用する「ホワイトデータセンター構想」の取組を進めてきたところであり、平成25年には同社と構想の実現に向けた連携協定を結び、その後5か年にわたり事業化に向けた実証試験を共同で行ってきました。

市としては、このたびの空知団地の譲渡により、ホワイトデータセンターの事業化が実現することとなりましたが、今後のデータセンターの事業拡張をはじめ、サーバの廃熱を活用した農業・食料生産事業、再生可能エネルギーの供給事業の実現など、省エネ型先端技術による事業の多角化に向けた取組にも大きな期待を寄せており、新たな時代の変化に対応した「美唄らしい地域資源を活かしたまちづくり」の推進に、引き続き取り組んでまいります。

以上、申し上げまして報告を終わります。